

まちの情報お届け講座



まちの「今」をお届けします

全 **44** 講座



まちの情報お届け講座とは？



町長や職員が町民の皆様が開催する地域での学習会などにお伺いし、町の取り組みや制度、暮らしに役立つ情報をお届けすることで、町について共に考え、理解を深めていただくことを目的としています

町政全般					産業				
	講座名	内容	担当課	現地		講座名	内容	担当課	現地
1	町長が語る まちの今とこれから	町の施策や取り組みについて、町長がお話します（内容につきましてはご相談させていただきます）	企画財政課		8	学ぼう、鳥獣対策	有害鳥獣対策は、地域ぐるみで共通認識を持って、継続的に取り組むことが大切です。鳥獣対策の基本をわかりやすく説明します	農林水産課	
2	まちを知る ～人口ビジョンと 総合戦略～	町の基本的な方針「総合戦略」に掲げた施策や取り組みとともに、町の人口の現状や将来展望を提示した「人口ビジョン」を説明します	企画財政課		9	教えて、小豆島で 獲れるおさかな	瀬戸内海に囲まれた小豆島は、四季折々の海の幸が豊富。そんな小豆島で獲れる魚の種類や漁法などについて学びましょう	農林水産課	
3	まちの家計簿 ～わかりやすい 財政事情～	「財政」と聞くと「難しそう」と感じていませんか？町の財政を身近に感じてもらうため、予算内容や財政状況をわかりやすく説明します	企画財政課		10	考えよう、まちの農業 ～現状とこれから～	町の農業の現状・課題・振興策についてわかりやすく説明します。町の農地面積の6割を占める耕作放棄地について考えてみませんか	農林水産課	
4	まちの施設を 見学しよう	町の公共施設等を実際に見学いただき、皆さんの暮らしに関わる事業や取り組みの現場を実際に訪れることで理解を深めます	企画財政課 (各施設 担当課)	○	11	チャレンジ、 棚田での米づくり	「日本の棚田百選」にも選ばれた中山千枚田。生産性の低い「棚田」での米作りに挑戦したい方、棚田の魅力を教えます	農林水産課	○
5	知っておきたい 町税のしくみ	私たちの暮らしの中で、皆さんにご負担いただいている「町民税」や「固定資産税」などの課税の仕組みから納税方法までを説明します	税務課		12	もっと知ろう、 小豆島オリーブの 魅力	オリーブの歴史や栽培・加工などのお話やオリーブオイルのテイスティングを行います	オリーブ課	
6	選挙を知って、 みんなで投票	私たちの代表を選び、意見を政治に反映させるための選挙。仕組みや投票の大切さを学んでいただくため、選挙講座や模擬投票等を行います	総務課						
7	小豆島町議会に 行ってみよう	予算や条例の審議を行うなど、町の話し合いの場である議会について紹介します	議会事務局						

産業



「大阪・関西万博」が開催される2025年を目指し、企業などの健全で持続的な事業活動を支援するとともに、民間資本の誘致や官民連携により「地場製品の販売機会創出」「観光振興」「滞在型リゾート観光への転換」などに取り組んでいます。また、農業・漁業の後継者問題や遊休農地等の課題解決、6次産業化を推進しています。



「次代に夢をつなぐ、持続可能なまちづくり」を目指して



健康・福祉				
	講座名	内容	担当課	現地
13	介護保険施設って どんなところだろう	介護保険施設の事業内容(「介護 老人保健施設」「特別養護老人ホ ム」「訪問介護」「相談・ケアプラン作 成」)や自宅介護のコツを紹介します	介護保険施設	
14	みんなの力で支えあう 福祉のまちづくり	地域住民主体の団体が行う高齢者 や障害者支援に対し補助金を交付 する「福祉のまちづくり支援事業」。 制度概要や取り組みを説明します	健康づくり 福祉課	
15	もっと知ろうよ、 国民健康保険制度	医療費は、皆さんが納める保険税等 で賄われています。国民健康保険の 仕組みや医療費、健康づくりについて 学んでみませんか	健康づくり 福祉課	
16	働き盛りの今、 受けようがん検診	2人に1人が生涯に一度はかかるとい われているがんについて学び、若いうち から定期受診する習慣を身につけま しょう	健康づくり 福祉課	
17	知っていますか、 障害者 差別解消法	人格と個性を尊重し、共生する社会 の実現に向け、障害を理由とする差 別解消のため制定された「障害者差 別解消法」について説明します	健康づくり 福祉課	

健康・福祉				
	講座名	内容	担当課	現地
18	知って気づいて 防ごう虐待	虐待には児童虐待、高齢者虐待、障 害者虐待があります。虐待による事件・ 事故を防ぐためには地域全体で見守り 支えていくことが大切です。虐待の種類 やサイン、相談窓口を知りましょう。	健康づくり 福祉課 高齢者 福祉課	
19	みんなで延ばそう 健康寿命	いくつになってもいきいきと生活するた めの、百歳体操やお口の体操を紹介し ます。『幸齢者』を目指しませんか？	高齢者 福祉課	
20	認知症サポーター 養成講座 & こまめ隊養成塾	認知症の知識と対応を中心に高齢 者への理解や接し方を学んでいただ き、地域で支え愛活動に取り組んで いただくこまめ隊を養成します	高齢者 福祉課	
21	人生100年時代 の 年金制度	公的年金の意義や保険料の納付、 年金受給の留意点、代表的な手続 きなど、年金制度の概略を説明しま す	住民生活課	

健康・福祉



持続可能な医療提供体制を実現するため、香川大学や香川県との連携を強化しながら、土庄町とともに小豆島中央病院の医師確保などに取り組んでいます。このほか、障害のある方に快適な住環境を提供するため、グループホームのエレベーター設置に支援を行うなど、障害福祉サービスの向上にも努めています。





定住・交流				
	講座名	内容	担当課	現地
22	自らの命は自らを守る ～今すぐできる 防災対策～	災害はいつ起きてもおかしくありません。自らの命を守るため、日頃からの備えや町の防災に関する取り組みなどを説明します	総務課	
23	交通事故のない 安心安全なまちづくり	いつ当事者になるかわからない交通事故。町の交通安全対策とみなさんが活用できる制度等について紹介します	総務課 建設課	
24	公共交通を 利用しよう	バスの乗降や料金の支払い方法、ICカードの使い方を学ぶとともに、高齢者等運転免許自主返納支援事業などの利用促進施策を紹介します	企画財政課	
25	アートによる魅力創造 ～瀬戸内国際芸術祭～	「海の復権」をテーマに2010年から始まった瀬戸内国際芸術祭。その作品や取り組みについて紹介します	企画財政課	
26	私たちが利用している 生活道路	道は、県が管理する国道・県道、町が管理する町道、加えて里道・農道があります。里道・農道における原材料支給制度について説明します	建設課	
27	環境に優しい、 ごみの分け方・出し方	小豆島のごみや処理施設の現状とともに、ごみ分別のルールについて具体的な事例を紹介しながら説明します	住民生活課	
28	ぼくもわたしも 「食品ロス」減らし隊	食品ロスの半分は家庭から出されています。日常生活でできる食品ロスへの具体的な取り組みを紹介します	住民生活課	

定住・交流				
	講座名	内容	担当課	現地
29	しあわせづくりの ための人権講座	誰もがお互いに認め支えあい、自分らしく生きられるーそんな幸せで温かな「まちづくり」のための町の取り組みについて説明します	住民生活課	
30	男女共同参画社会 を目指して	男性・女性などの固定的観念や役割意識にとらわれず、仕事や家事・育児・介護などの両立を行うための町の取り組みについて説明します	住民生活課	
31	石の歴史と魅力 ～日本遺産認定～	日本遺産に認定された「知ってる!? 悠久の時間が流れる石の島」。その歴史や構成文化財について魅力とともに紹介します	商工観光課	○
32	選ばれ続ける持続 可能な観光地へ ～私達にできること～	町は2022年版「世界の持続可能な観光地TOP100選」に選ばれました。「持続可能な観光地」となるために私たちにできることを考えましょう	商工観光課	○
33	地域おこし協力隊 に聞いてみよう	町では、観光、ICT教育や農・漁業など様々な分野で地域おこし協力隊が活動しており、それぞれの活動について説明します	企画財政課	
34	知っているようで 知らない 住まいの補助制度	住宅の取得支援、リフォーム、耐震改修、太陽光発電など、さまざまな住まいに関する補助制度について紹介します	住まい 政策課	
35	知っておきたい 「空き家問題」と 「移住定住施策」	まちの課題である人口減少問題と増加する空き家問題。空き家を活用した移住定住施策の取り組みや補助制度について紹介します	住まい 政策課	

定住・交流



未来思考で港の魅力ある再整備を進め、京阪神との連携強化や観光 SDGs を推進するとともに、公共交通においてはバス停が遠いエリアに住む方のため、新たな交通体系の構築を進めています。また、空き家の活用・撤去や危険な廃墟などの跡地利用を推進するほか、島で暮らす若者、Uターンの若者、子育て世帯に対する住宅取得を支援しています。



まちを学び、まちを知る

全 44 講座

(メニューは変更する場合があります)



教育・文化				
	講座名	内容	担当課	現地
36	まちの歴史・文化・自然を知ろう ～地域の宝物～	町内にある様々な文化財等、地域の宝物を紹介し、一緒に郷土の歴史や地域の魅力について考えます	生涯学習課	○
37	図書館は宝物館	本との出会いの場であり、町の歴史や文化等の情報のつまった図書館をフル活用する方法を紹介します	生涯学習課	
38	「婦人の家講座」に参加しよう	「働く婦人の家」で実施している講座について紹介します	生涯学習課	
39	ニューススポーツを体験してみよう	「誰でも、どこでも、いつでも、簡単に」楽しめるため、考案されたニューススポーツ。体験してみませんか	生涯学習課	○
40	水辺の安全管理講座 ～大切な命を守り、楽しく遊ぼう～	水難事故を防ぎ、安全に楽しく、海や川で遊べるように紙芝居や動画、ライフジャケット等を使用して水辺の安全管理を学びます	生涯学習課	

教育・文化				
	講座名	内容	担当課	現地
41	マリンスポーツを体験してみよう	カヌー、ローボートの体験講座です(7月～9月下旬頃)。小豆島ならではのマリンスポーツで海をもっと身近に感じてみませんか	生涯学習課	○
42	コミュニティ・スクール 学校支援ボランティア～地域とともにある学校づくり～	町でも始まった、地域の声を生かし、特色ある学校づくりを進める「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を紹介します	生涯学習課 こども教育課	
43	わかりやすい 特別支援教育	特別な支援を必要とする児童・生徒の健やかな成長を応援するため、町で行っている幼・保、小中学校の取り組みを紹介します	こども教育課	
44	子育て支援の仕組み	小豆島の未来を担う子どもたちの成長を応援するため、保育所、幼稚園、一時預かりなど町が行っている様々な子育て支援を紹介します	こども教育課	

教育・文化

幼少期から「元気に遊び、触れ合える」学びの場をつくるため、小学校統合を進め、内海地区の幼保再編と合わせて教育・保育環境の整備・充実を図ります。また、「小・中学校の給食費無償化」「高校卒業までの子ども医療費支給」など、子育て世帯の負担を軽減する多様な制度を用意し、安心して子どもを産み育てることができるまちを目指しています。



まちの情報お届け講座 | ご利用案内 |

ご利用できる方

小豆島町内に居住している 5 名以上の団体やグループ（通勤、通学を含みます）

開催日時

原則、年末年始を除く平日の午前 9 時から午後 5 時までの間でおおむね 60 分以内

費用

無料です。ただし、会場使用料や講座によって必要となる材料費などは申込団体の負担となります

開催場所

町内に限ります。この講座は、町民の皆さんのもとへ職員を派遣するものですので、会場の手配、準備ならびに進行などは、申込団体でお願いします

ご注意

- * 政治、宗教または営利を目的とした催しなどには、ご利用になれません
- * この講座は学習の場であり、要望、苦情、陳情等を目的とする場ではないことをご理解ください

開催までの流れ



メニュー表から学びたいテーマを選び、開催希望日時の設定や会場の手配をしてください

開催希望日の 3 週間前までに企画財政課へ「申込書」を提出してください

企画財政課から開催決定の連絡があったら、事前に担当課と打ち合わせをしてください

担当者が会場に出向きます。終了後は「アンケート」を企画財政課へ提出してください



小豆島町ホームページ
「まちの情報お届け講座」

お問い合わせ・お申し込みは、

小豆島町企画財政課

電話 *(0879)82-7000 FAX *(0879)82-7023
E-MAIL *olive-kikaku@town.shodoshima.lg.jp

